令和８年度　第３回

まちづくりミーティング

三馬、米泉、富樫、伏見台　校下（地区）

日時　令和８年８月２９日(土)　１４時００分から

場所　教育プラザ富樫　１号館　２階　121・122 研修室

本日は、お忙しい中をご参加いただき、誠にありがとうございます。
進行は次のとおりですので、よろしくお願いいたします。

１　開会

２　市長あいさつ

３　地域代表あいさつ

４　進行の説明等

５　地域課題について

６　共通課題について

７　質疑応答、意見交換

８　市長まとめ

９　閉会

金沢市市民協働推進課

TEL 220-2026　FAX 260-1178

提出課題一覧

１　地域課題

番号	地域課題	頁
１	１．空き地・空き家の地域活動の連携 ２．掲示板の設置について （三馬校下町会連合会）	P.２ ～ P.４
２	防災資機材等整備補助制度の拡充について （米泉校下町会連合会）	P.５ P.６
３	教育プラザ移転後の利用計画について （富樫校下町会連合会）	P.７ P.８
４	１．伏見台商店街と町会連合会の連携による地域活性化について ２．地域防災力の向上と災害に強いまちづくりについて （伏見台校下町会連合会）	P.９ ～ P.11

２　共通課題

共通課題	頁
伏見川及び泉用水をはじめとする地域の農業用水の維持管理と安全対策について	P.12 P.13

地域課題　１

町会連合会名	三 馬 校 下 町 会 連 合 会
地域課題	１．空き地・空き家の地域活動の連携 ２．掲示板の設置について
現状と課題	１．校下内には、空き地・空き家がたくさんあります。三馬校下だけの問題ではありませんが、地域活動や集会、町会の会議などを行う場所が「公民館」しかなく不便さを感じています。 ２．校下の中での課題や問題点を町会長会議等で話し合っていますが、その内容などを住民に広く情報共有したい。
地域が考える対応策･解決策／協議したい事項	１．地域内にある空き家等の現状を金沢市と連携して調査・把握し、それらを集会場や町会の会議室として有効活用できれば、地域住民の活動が円滑になり、非常に大きな助けとなります。金沢市の調査をお願いしたいです。 ２．金沢市で、掲示板をもう少し増やしていく補助をしていただければ住民への情報確認が楽になります。具体的な設置について今後金沢市との協議で可能でしょうか。

市の方針等説明書（地域課題　１－１）

地域課題	１．空き地・空き家の地域活動の連携
協議事項	地域内にある空き家等の現状を金沢市と連携して調査・把握し、集会場や町会の会議室として有効活用できれば、地域住民の活動が円滑になり、非常に大きな助けとなる。市の調査をお願いしたい。
市の方針等	

本市では、これまでも空き家の隣人や町会等から空き家に関する問い合わせを受けた場合、建物の劣化や草木の繁茂をはじめ、保安、衛生、景観など、様々な観点から調査、確認した状況を庁内関係部局と共有しながら、建物所有者に対して、改善に向けた指導や助言を行ってきています。

その取組の中で、空き家の活用に関する地域の意向を建物所有者に伝えることは可能であり、空き家を集会室や町会の会議室に活用する場合については、町会、所有者及び市の３者が協定を締結すると、改修費用の３分の２（限度額１００万円）を町会に補助する制度もあることから、具体的な対象地をご教示いただき、ご相談願います。

（参考）地域連携空家等活用事業

・集会所やポケットパーク等の整備費用　補助限度額１００万円（補助率２/３）
・空き家に残された動産処分費　補助限度額　１０万円（補助率１/２）

担当課	都市整備局　建築指導課　　電話　２２０－２１３６

市の方針等説明書（地域課題　１－２）

地域課題	２．掲示板の設置について
協議事項	校下の中での課題や問題点を町会長会議等で話し合っていますが、その内容などを住民に広く情報共有したい。 金沢市で、掲示板をもう少し増やしていく補助をしていただければ住民への情報確認が楽になります。具体的な設置について今後金沢市との協議で可能でしょうか。

市の方針等

多くの住民の皆さんに参画いただき、地域コミュニティを充実させていくには課題や情報の共有は不可欠と考えており、本市では、そのための支援制度を用意しています。

まず、掲示板の設置につきましては、市民協働推進課の「コミュニティ活動推進用具購入費等補助」制度により対応が可能です。10万円以上の設置費に対して４分の３の補助率で、限度額25万円までの支援を行っています。校下（地区）内で掲示板の増設が必要であれば、台数や設置場所などを確定し申請していただくことになります。

なお、民地以外の設置場所については、公園、道路敷地などによって管轄する部署が異なりますので、ご相談に応じて担当部署との協議・調整へおつなぎしております。

また、より迅速かつ広域な情報共有を実現するため、デジタルツールとして「結ネット」の活用も検討いただければと思います。「結ネット」は電子回覧板としての機能に加え、グループウェア機能による出欠確認、さらには災害時の安否確認システムとしても活用できます。システムアプリ等の導入にかかる経費等については、「地域コミュニティＩＣＴ活用事業費補助」の対象となっており、町会加入世帯数に応じて補助率４分の３で最大240万円までの支援が受けられます。

掲示板等による従来からの情報提供と、「結ネット」を併用することで、より効果的な情報共有が実現できると考えております。ぜひ町会単位等での導入についてご検討ください。

担当課	市民局　市民協働推進課　　電話２２０－２０２６

地域課題　２

町会連合会名	米 泉 校 下 町 会 連 合 会
地域課題	防災資機材等整備補助制度の拡充について
現状と課題	今年３月、市危機管理課から新たに簡易テントや段ボールベッド等の防災資機材が支給されました。 このことについては、有事の際は勿論のこと、町内訓練や校下一斉訓練の際において実践的に活用できると、防災士等などから感謝の声を聞いております。 一方、当校下自主防災組織では、拠点避難場所である小学校の敷地の一部をお借りして防災倉庫を設置し、簡易ベッドや簡易間仕切り等の防災資機材を確保していますが、倉庫はすでに満杯となっており、今般支給された資機材を入れることができず、小学校のピロティの一角に一時的に保管させていただいている状況です。
地域が考える対応策･解決策／協議したい事項	対応策として市の補助制度を活用した防災倉庫の増設を考えていますが、昨今の物価高騰の折、限度額30万円では地元の負担が過大となり、資金確保が困難な状況であります。 つきましては、補助限度額の引上げなど補助制度の拡充をご検討いただければ幸いです。 加えて小学校敷地の使用許可手続きの簡素化についてもご検討くださるようお願いいたします。

市の方針等説明書（地域課題　２）

地域課題	防災資機材等整備補助制度の拡充について
協議事項	当校下自主防災組織では、拠点避難場所である小学校の敷地の一部をお借りして防災倉庫を設置し、簡易ベッドや簡易間仕切り等の防災資機材を確保していますが、倉庫はすでに満杯となっており、今般支給された資機材を入れることができず、小学校のピロティの一角に一時的に保管させていただいている状況です。 市の補助制度を活用した防災倉庫の増設を考えていますが、昨今の物価高騰の折、限度額 30 万円では地元の負担が過大となり、資金確保が困難な状況であります。 つきましては、補助限度額の引上げなど補助制度の拡充をご検討いただければ幸いです。 加えて小学校敷地の使用許可手続きの簡素化についてもご検討くださるようお願いいたします。

市の方針等

昨今の物価高騰が、各自主防災組織の活動や備蓄品の整備に影響していることについては、承知しておりますが、現在の補助制度の限度額引上げなどの拡充につきましては、他の補助制度との兼ね合い、他都市の状況等を踏まえる必要があることから、予算編成の中で、制度のあり方について検討させていただきたいと思います。ご理解のほどお願いいたします。

なお、今年６月より、市が開設運用する避難所とは別に、民間施設等を地域の自主防災組織が自主的に開設、運営する届出避難所として登録する制度や、届出避難所で必要な備蓄品の購入に対して、補助率３分の２、上限額：２０万円の助成制度を創設しましたので、こちらの活用もご検討いただければと思います。

また、学校敷地内の備蓄品の保管場所については、学校運営に支障がないよう十分に配慮しながら、校舎内で、市の防災備蓄の収納スペースが確保できないか、改めて、学校や教育委員会と協議していきたいと考えております。

今後とも、自主防災組織の皆様のご意見をお聴きしながら、地域防災力の向上につながる効率的な支援のあり方を模索してまいります。

（参考１）防災資機材等整備補助（防災倉庫・資機材）※５年ごとに利用可能

補助率：（地区防災計画なし）１／２　（地区防災計画あり）２／３

限度額：３０万円

限度額に達した実績

Ｒ８：４／17件（23.5%）、Ｒ７：10／38件（26.3%）、Ｒ６：12／17件（26.7%）、Ｒ５：14／42件（33.3%）

（参考２）届出避難所補助（防災備蓄品購入）※届出避難所ごとに１回利用可能

補助率：２／３

限度額：２０万円

担当課	危機管理課　　電話　２２０－２３６６ 教育委員会　教育施設課　　２２０－２４３０

地域課題　３

町会連合会名	富 樫 校 下 町 会 連 合 会
地域課題	教育プラザ移転後の利用計画について
現状と課題	教育プラザ富樫の一部が三馬小跡地に移転する計画が発表されましたが、現教育プラザの建物敷地はどのような形で今後、利用する計画があるかお聞きしたい。 隣接する旧市営プール跡地も当初、武道館構想もあったが消えた。現在、広大な臨時駐車場となっているが、明確な利用目的がないままとなっている。教育プラザは体育館もあり、市営陸上競技場やサッカーグラウンドも隣接しているため、もっと連携して敷地を有効活用出来ないか？ 住民間の交流が少なくなってきている昨今、多世代で市民が集まれる広場的な場所がなく、このまま教育プラザが無くなれば人が集う要素が減り、南部ブロックの活性化につながらない。定住支援や地域の活性化と持続的なまちづくりを目指してほしい。
地域が考える対応策･解決策／協議したい事項	複数ある建物はそのまま交流拠点として活用出来ないか？ 市内で廃校となった小学校は住民の交流施設活用で協議されている新聞記事をみる。例えば、大学の研究施設の入居や、一部建物を地域の公民館や児童館で活用出来ないか？もしくは大桑防災基地のような施設として平時は公園、災害時は防災拠点とすることで人口の多い文教地区の避難場所にもなる。グラウンドや駐車場もあり、備蓄物資を保管するほか、公園の水場を貯水槽とし災害時に活用等の考えはないか？

市の方針等説明書（地域課題　３）

地域課題	教育プラザ移転後の利用計画について
協議事項	住民間の交流が少なくなってきている昨今、このまま教育プラザ富樫が無くなると、多世代が集まれる広場的な場所が無くなってしまう。複数ある建物はそのまま交流拠点として活用出来ないか？ 市内で廃校となった小学校は住民の交流施設活用で協議されている新聞記事をみる。例えば、大学の研究施設の入居や、一部建物を地域の公民館や児童館で活用出来ないか？ もしくは大桑防災基地のような施設として平時は公園、災害時は防災拠点とすることで人口の多い文教地区の避難場所にもなる。グラウンドや駐車場もあり、備蓄物資を保管するほか、公園の水場を貯水槽とし災害時に活用等の考えはないか？

市の方針等

小学校の統合・閉校に伴う跡地などの利活用については、
それぞれの立地特性を踏まえつつ、市政を取り巻く環境の変化や、
本市のまちづくり全体を勘案しながら、庁内横断のプロジェクトチームを中心に
利活用方針を検討したうえで、取組を進めています。

具体的には、
旧馬場小学校跡地は、不登校児童・生徒の増加といった課題に対応すべく、
学びの多様化学校、いわゆる不登校特例校として活用することとし、
令和１０年度中の開校に向け、改修工事等の準備を進めているほか、
旧新堅町小学校跡地では、多様な人々と地域がつながり、学びと共創を創出する
「地域力創造拠点施設」の整備に向けて、基本計画策定に取り組んでいます。

老朽化した教育プラザ富樫については、三馬小学校移転後の跡地に移転し、
子育て支援機能の強化や多世代交流機能を付加した「こども未来拠点施設」として
整備することとしていますが、
教育プラザ富樫移転後の跡地についても、移転のスケジュールを勘案しつつ、
本市全体のまちづくりの視点をはじめ、南部地区周辺を取り巻く環境の変化なども
踏まえながら、適切な時期に、しっかり検討していきたいと考えています。

担当課	都市政策局　企画調整課　　電話　２２０－２０３１

地域課題　４

町会連合会名	伏 見 台 校 下 町 会 連 合 会
地域課題	１．伏見台商店街と町会連合会の連携による地域活性化について ２．地域防災力の向上と災害に強いまちづくりについて
現状と課題	１． 伏見台校下では高齢化やライフスタイルの変化により地域住民同士のつながりが希薄化している。また、商店街においても利用者の減少や担い手不足が課題となっている。 ２． ・令和６年能登半島地震では、伏見台校下でも一部液状化の影響が見られた。今後の災害に備え、地域の防災力向上や住民同士の支え合い体制の強化が課題となっている。 ・小学校体育館と防災倉庫との間に屋根が設置されていないため、雨天時や降雪時における資機材や備蓄品の搬送に支障を来す恐れがある。
地域が考える対応策･解決策／協議したい事項	１． 伏見台商店街と伏見台校下町会連合会が連携し、地域のにぎわいとコミュニティの維持・発展に向けて、行政とどのような協力が可能か協議したい。 ２． ・地域防災力向上、液状化対策、要支援者支援、防災拠点整備に関する支援と連携について協議したい。 ・避難所開設時における物資搬送の迅速化、安全確保及び備蓄品保護のため、体育館と防災倉庫を結ぶ屋根付き通路等を整備していただきたい。

市の方針等説明書（地域課題　４－１）

地域課題	１．伏見台商店街と町会連合会の連携による地域活性化について
協議事項	伏見台校下では高齢化やライフスタイルの変化により地域住民同士のつながりが希薄化している。また、商店街においても利用者の減少や担い手不足が課題となっている。 伏見台商店街と伏見台校下町会連合会が連携し、地域のにぎわいとコミュニティの維持・発展に向けて、行政とどのような協力が可能か協議したい。

市の方針等

少子高齢化やライフスタイルの変化等によって様々な地域課題が生じていますが、そういった中でも、伏見台商店街と伏見台校下町会連合会においては、その課題に向き合い、地域の賑わいとコミュニティの維持・深化に、連携した取組を進められており、関係各位の熱意に敬意を表します。

本市では、地域コミュニティの活性化を図る先進的かつ自主的な取組に対して支援する助成制度があり、中でも「地域団体連携事業」という補助メニューは、校下（地区）町会連合会又は単位町会が、同じ校下内の（商店街など）地域団体と連携して活性化に取り組む事業を対象としています。

例えば、高齢者と若年層が交流できるイベントやワークショップの開催、商店街を活用した地域交流の場づくり、地域住民参加型の商店街活性化プロジェクトなど、地域のつながりを深め、商店街の活性化につながる事業が挙げられます。

また、地域活動、町会活動等における担い手支援として、既に活用されております、学生団体を派遣する「学生の地域コミュニティ連携促進事業」もございます。具体的には、夏祭りや盆踊りなどのイベント・町会行事に学生ボランティアを派遣することで、運営の人手不足を補完しながら、地域と学生の新たなつながりを創出するものです。

このほか、商店街が実施する地域コミュニティ活性化イベントに対しても支援しており、伏見台商店街の皆様には、概ね毎年活用いただいていると伺っております。

今後も、地域の賑わいを作りだし、発展させていこうとする取組に対して支援をし、商店街及び地域の活性化に向けて、どのような協力ができるかを考えてまいります。

担当課	市民局　市民協働推進課	電話　２２０－２０２６
	経済局　商工労働課	２２０－２１９３

市の方針等説明書（地域課題　４－２）

地域課題	２．地域防災力の向上と災害に強いまちづくりについて
協議事項	①地域防災力向上、液状化対策、要支援者支援、防災拠点整備に関する支援と連携について協議したい。 ②避難所開設時における物資搬送の迅速化、安全確保及び備蓄品保護のため、体育館と防災倉庫を結ぶ屋根付き通路等を整備していただきたい。

市の方針等

① 地域防災力の強化に向けては、各校下・地区内で、日頃から自主防災組織だけでなく防災士会や地区社会福祉協議会などの各種団体等が集まり、災害時におけるそれぞれの役割や連携について確認することが、大変重要であると考えています。

今年度より、防災分野の専門性を有するＮＰＯ法人を地域に派遣し、能登半島地震で課題となったトイレ確保などを題材にワークショップを開催することで、実効性の高い地区防災計画の見直しを支援することとしております。是非、ご活用いただければと思います。また、かがやき発信講座はもとより、地域の防災訓練や研修会などに、必要であれば、地区支部要員や危機管理課の職員の派遣も可能ですので、お声かけいただければと思います。

② 今回ご要望の屋根付き通路の整備は、学校施設の管理運営や防災倉庫の更新等に支障をきたすなどの課題もあることから、難しいことをご理解のほどお願いいたします。

なお、現在、学校からは、屋根伝いに行ける学校所有の「中庭倉庫」には、地域開放団体の用具や学校の長机を保管しているものの、一部の防災備蓄品であれば、保管可能であるとのことでしたので、避難所開設時の初動に必要な備蓄品の移動などについて、地区防災会の皆様と協議していきたいと考えています。

担当課	危機管理課　　電話　２２０－２３６６

共通課題

共通課題	伏見川及び泉用水をはじめとする地域の農業用水の維持管理と安全対策について
現状と課題	伏見川及び泉用水をはじめとする地域の農業用水は、地域の生活環境や景観形成において重要な役割を担っているが、近年は草木の繁茂や土砂の堆積が見られ、景観や排水機能への影響が懸念されている。また、地域住民による清掃活動だけでは維持管理が難しくなってきている。 さらに、用水沿いには転落の危険がある箇所があり、大雨時には越水への不安もあることから、安全対策の強化が求められている。 加えて、河川や用水において管理主体が異なることから、整備や維持管理に関する調整に時間を要する場合があり、地域課題の解決に向けた関係機関の連携強化が必要となっている。
地域が考える対応策･解決策／協議したい事項	金沢市、石川県及び地域が連携し、計画的な維持管理や安全対策を推進するとともに、地域からの要望に対する情報共有や協議体制の充実を図るため、下記について協議したい。 ・伏見川及び地域の農業用水の維持管理体制の強化について ・草木伐採、浚渫等の計画的な実施について ・転落防止柵等の安全対策について ・大雨時の越水対策について ・金沢市と石川県の連携強化及び地域との情報共有について

市の方針等説明書（共通課題）

地域課題	伏見川及び泉用水をはじめとする地域の農業用水の維持管理と安全対策について
協議事項	金沢市、石川県及び地域が連携し、伏見川及び農業用水の計画的な維持管理や安全対策を推進するとともに、要望に対する情報共有や協議体制を充実させたい。

市の方針等

泉用水から増泉川を経由し伏見川へ合流する区間は、中心市街地を流れており、生活環境や景観の形成、治水対策上重要な役割を果たしていると深く認識しております。

先般、伏見川の河川管理者である石川県に確認したところ、河川断面を確保するための土砂の撤去や雑木伐採の重要性は十分に認識しており、緊急性の高い箇所から順次実施し、今後継続的に取り組んでいく予定であると伺っています。
本市においても、パトロールなどで用水路内の除草伐採、浚渫などの必要があると判断した場合には遅滞なく対応するなど、適切な維持管理に努めております。

安全対策につきましては、住民の皆様が安心して暮らせるまちづくりのため、昨年度の大雨で水路から越水が確認された箇所については、現在、浸水被害軽減に向けた現地調査と対策案を検討しているところであり、地域の皆様のご意見をいただきながら、危険箇所の点検も進め、転落防止柵の設置や補修など安全対策上必要な対策を検討します。

引き続き、整備や維持管理に対する地域からの要望については、石川県とも情報を共有し、可能な限り迅速に対応したいと考えており、今後ともご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

担当課	土木局　河川水防課　　電話　２２０－２３４１